

経営比較分析表（令和4年度決算）

岐阜県 岐阜市

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
-	1	-	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	FIT・FIP適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和6年3月31日	平成30年11月30日	無
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
岐阜電力株式会社	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	H30	R01	R02	R03	R04
水力発電	-	-	-	-	-
ごみ発電	43,997	42,283	43,452	40,077	34,225
風力発電	-	-	-	-	-
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	43,997	42,283	43,452	40,077	34,225

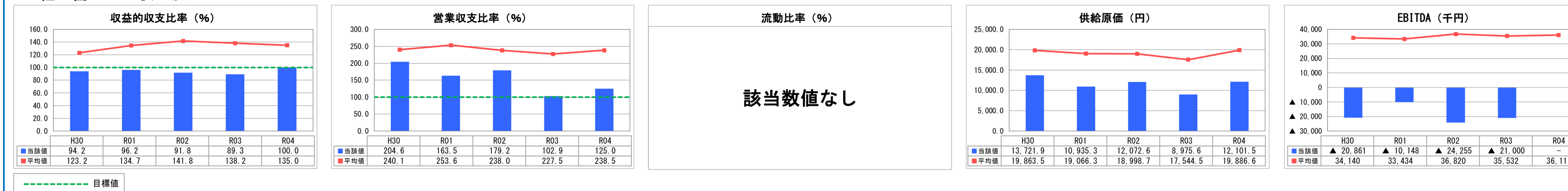
	FIT・FIP以外	FIT・FIP	合計
年間電灯電力量収入（千円）	168,994	-	168,994

剰余金の使途について（具体的な使用実績事業を記入してください）
基金への積立の有無…無 一般会計への繰出しの有無…有 繰出金：44,206千円（※使途は特に定めておりません） その他の有無…無

分析欄

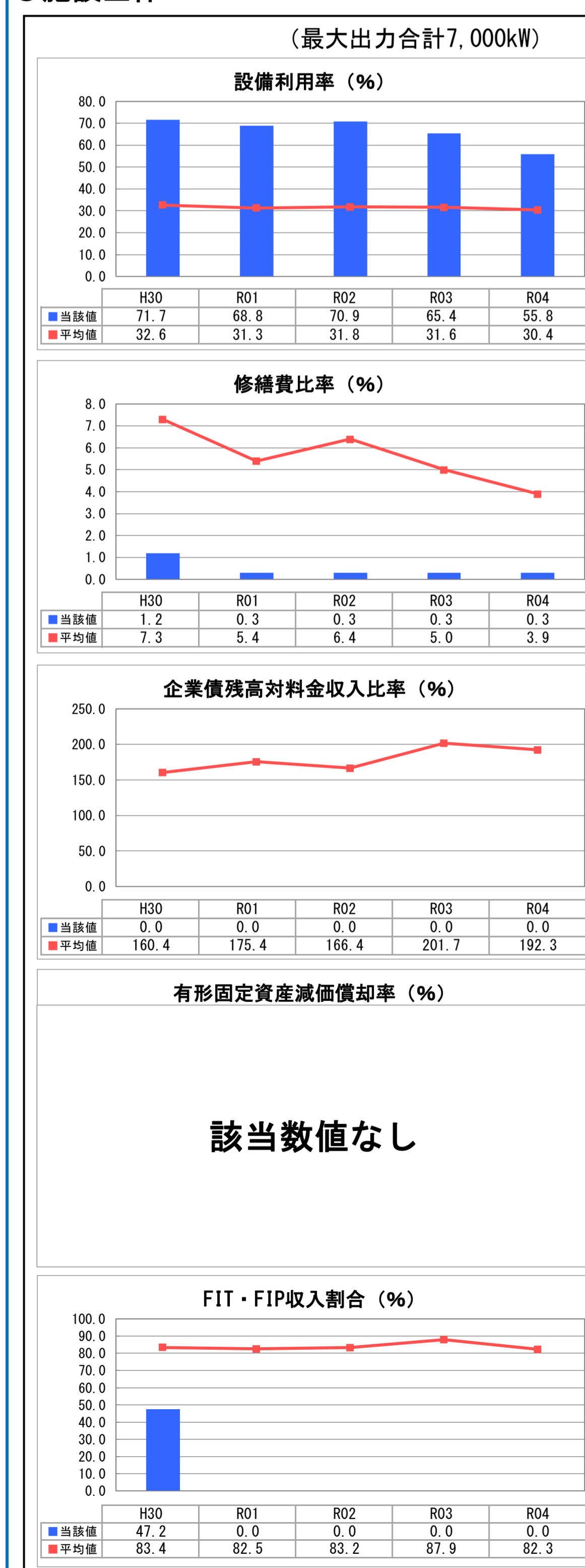
1. 経営の状況について
- 収益的収支比率 R04：100%
令和4年度をもって廃棄物発電事業特別会計を廃止するため、総収益から総費用を除いた額を一般会計への繰出金としたため100%になった。
 - 営業収支比率 R04：125.0%
令和4年度における営業収支比率は125.0%と単年度営業収支は黒字である。これは、電力市場が高騰し売電価格が上昇したためである。
 - 供給原価 R04：12,101.5円
売電電力量が減少しているため、供給原価が上昇している。売電電力量低下の原因はごみの減少による発電電力量の減少である。

1. 経営の状況

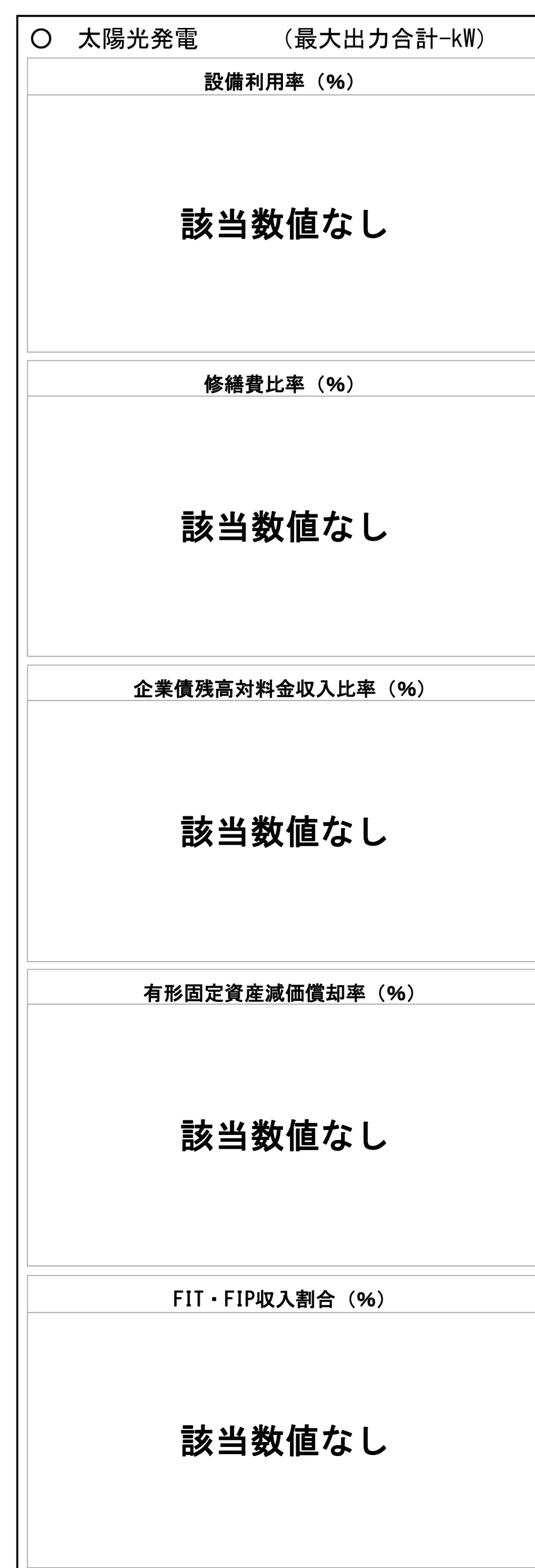
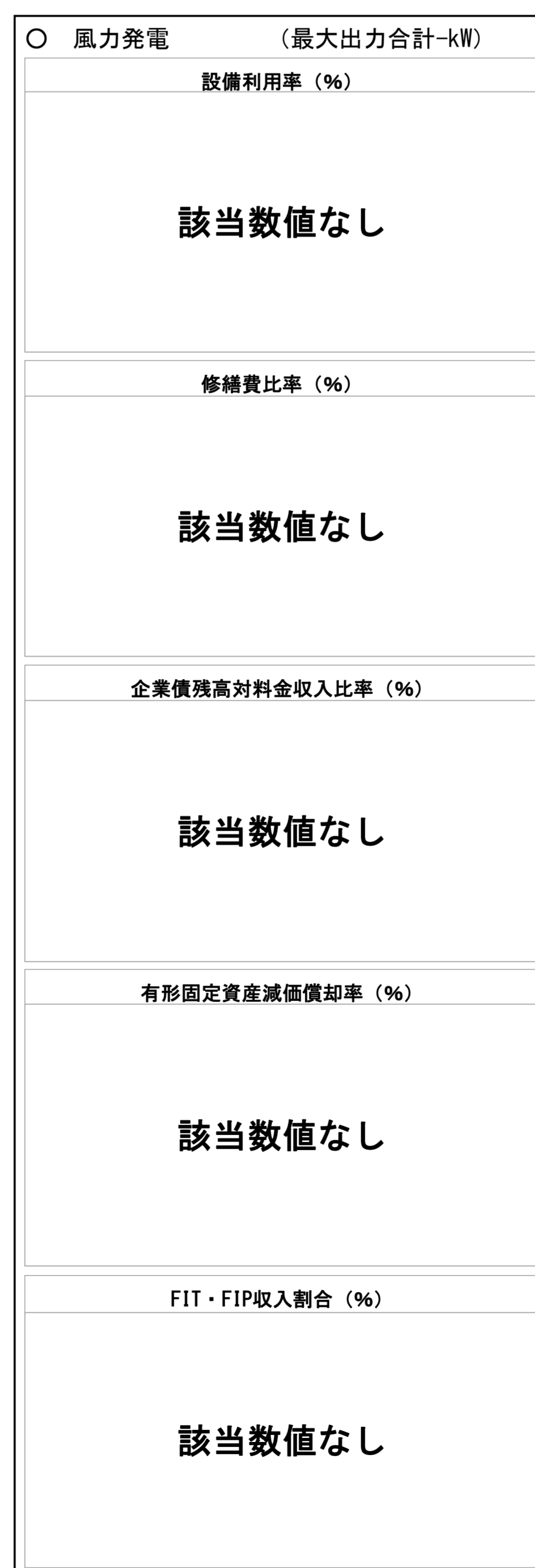
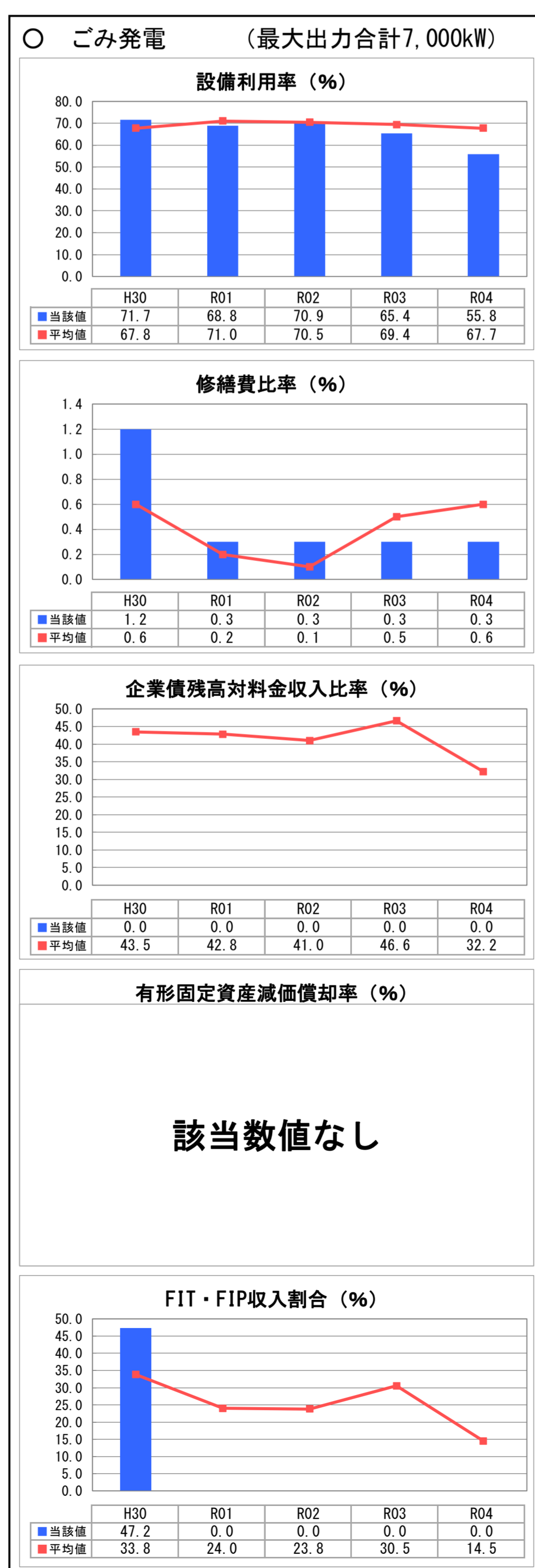
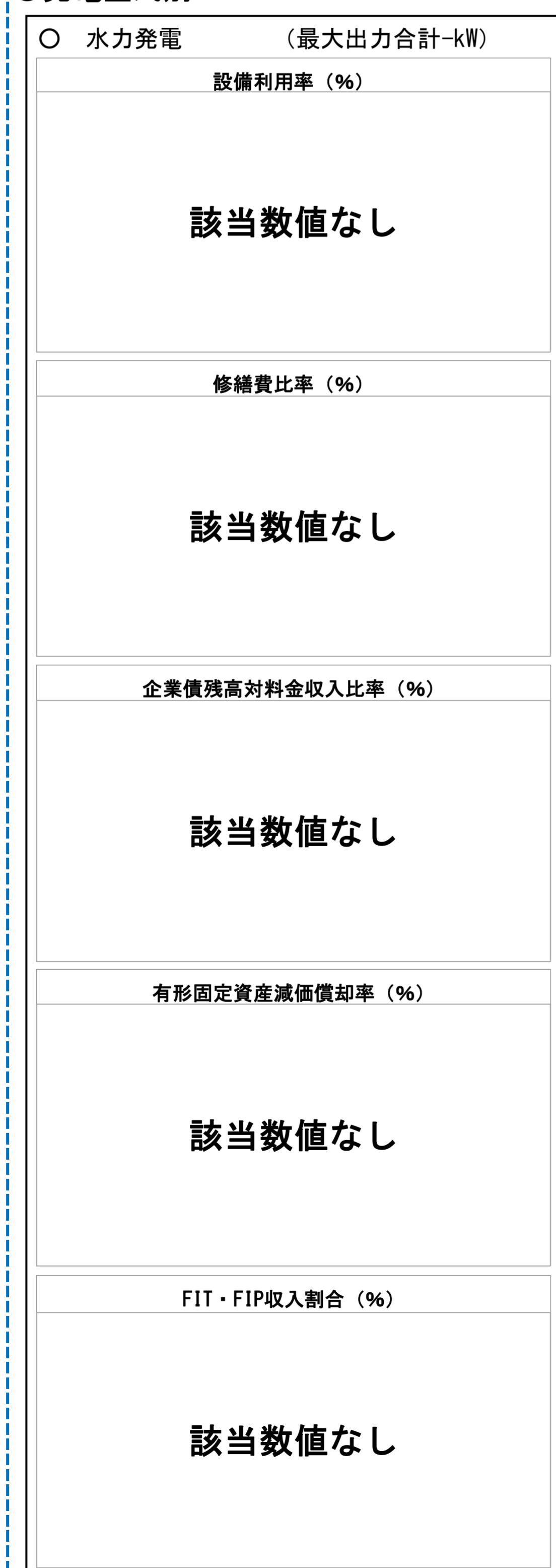


2. 経営のリスク

●施設全体



●発電型式別



2. 経営のリスクについて

- 設備利用率 R04：55.8%
設備利用率は、R3と比較し低下している。これはごみ量の減少により年間発電電力量が減ったため設備利用率が低下した。
- 修繕費比率 R04：0.3%
修繕費比率については、今年度も0.3%となっている。これは、定期点検等において適切な設備点検の結果、施設の安定稼働のために必要な修繕を行ったためである。
- 企業債残高対料金収入比率 R04：0%
企業債残高対料金収入比率については、平成23年度に地方債の償還が全て完了したことにより、平成24年度以降は0%となっている。
- FIT収入割合 R04：0%
固定価格買取制度が平成30年11月に終了したため、0%となった。

全体総括

- 経営の状況および経営のリスクの指標について、比較的良好な数値となっている。しかし、施設稼働後25年以上が経過している設備があり、経年劣化に伴う不具合による修繕等が発生しているため、不具合を未然に防ぐための点検業務を講じながら、適正な維持管理に努め、安定した発電を行う必要がある。
- 固定価格買取制度が終了したが、今後も売電契約は入札方式にて実施し、より有利な売電をするともに施設運営に必要な経費を改めて見直し、無駄のない効率的な発電に努める。

※ 平成30年度から令和4年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債残高対料金収入比率、FIT・FIP収入割合については、令和4年度の団体数を基に平均値を算出しています。